

京北協大会賑う

東京琵琶界の気骨者で知られる千葉玉山、戸谷曙水両名手を首魁とする京北琵琶協会の春の演奏大会は、五月十日夕五時半より池袋東口の豊島区民センター六階ホールで開かれ、詩吟松花の吟に始まり琵琶重田玉袖(勸進帳)、押田君水(本能寺)、詩吟磯部遊風(祝賀の詞)、輝錦舟(茨木)と続き花柳吉光妙さんの日本舞踊で大衆の目を娯しませ、岳水会連の吟があり挨拶に移る。会長鶴見秀男医師、鈴木雲の友社長がそれぞれ挨拶を述べ、更に新道普及の功労者千葉玉山理事長へ日本芸能顕彰会より美事なタテを贈呈して表彰された。続いて白沢、東野両氏の各独吟、琵琶古宮蘭水(葉兒)、橋本草水(吉野落)、吟二題あつて輝錦舟(地震加藤)の巧熟演奏でファンを喜ばせ、最後は千葉玉山師が「石童丸」の曲で真技を發揮し大賑いの裡に好評を受け終った。この催しは春秋二回行われる池袋の名物となつてゐる。

千葉師の妙技に感動

千葉玉山先生の名士社団法人日本函館「日府展」副理事長の文學博士石田雄氏、五月十日夜池袋東口豊島区民センターで催された京北琵琶協会の春季大会に参会され、玉山の演奏を聴かれて所感を左の如く墨痕淋漓たる「姓名韻詩」の佳什を玉山師へ贈られた。千客稱揚す彈奏の妙なるを、薬師の風格都塵を払ふ、

巧熟演奏いで好評

琵琶界の巨匠と稱する昭和三十六年に他の邦楽と共に東京新聞社の主催で始められ、以来三年間は東京新聞社主催で開かれ、三十九年に日本琵琶協会の独自主催となり、その一位者に協会賞の外、文部大臣奨励賞状と放送協会賞が授与される例が開かれた。その文部大臣賞を一番に受けた光榮者は新部長水さんで、爾來毎年一人の一位者を生み出しに及んだ。

巨星と精鋭競演

加藤師の会満員 頭影トロフィー 受賞で輝く会主

東京三鷹市の邦楽舞踊協合理事長の加藤師は、師心流琵琶の愛好者で、博愛礼節の心厚い義侠人として名物男と呼ばれてゐる。その加藤師は戦後動搖の人心安定を図つて琵琶会を催すこと十八年、市民感謝の的で人気者である。この加藤師主催の恒例春の琵琶会が前報記載の通り五月十九日正午より市教育委員会後援で同市社会教育会館四階ホールで開かれ、琵琶各派の大家と花形、吟界の名手連の出演で競演の幕があいた。序演は若水会の三浦(月下の陣)で般若水師、次が若水会の前川、中村の合奏。福元、正木の合奏と二曲続く。次は晴風会の本橋、多

巨匠と精鋭競演

加藤師の会満員 頭影トロフィー 受賞で輝く会主

東京三鷹市の邦楽舞踊協合理事長の加藤師は、師心流琵琶の愛好者で、博愛礼節の心厚い義侠人として名物男と呼ばれてゐる。その加藤師は戦後動搖の人心安定を図つて琵琶会を催すこと十八年、市民感謝の的で人気者である。この加藤師主催の恒例春の琵琶会が前報記載の通り五月十九日正午より市教育委員会後援で同市社会教育会館四階ホールで開かれ、琵琶各派の大家と花形、吟界の名手連の出演で競演の幕があいた。序演は若水会の三浦(月下の陣)で般若水師、次が若水会の前川、中村の合奏。福元、正木の合奏と二曲続く。次は晴風会の本橋、多

日本旭会最高位 大師範昇格発表

創立六十余年の歴史を有する筑前琵琶日本旭会は、全国に夥しい会員を擁し、第一の大団体であるが、同会の宗家橋本旭四世は、同会員の古参で卓越せる技能者で功績顯著の左記四大家に對し最高位の大師範に叙された。(順不同)

- 東京 押田 旭 窃
- 小倉 河野 旭 保
- 神戸 柴田 旭 堂
- 東京 藤巻 旭 鴻

大館派琵琶の 五州会(第三回)公演

七月四日夕五時 上野本牧亭にて

独特の節調と美声と研えた絃技で天下の名人と謳われた大館派宗家大館洲楓師も、寄る年波には勝てずか公開出演を免角遠慮がちとなられた。そのため洲楓会首藤師部五師が協議して「五州会」を結成されたのが昨夏八月である。以来二回公演を行好人気を呼び期待されてゐるが、その三回目の公演を来る七月四日午後五時開場、東京上野本牧亭に於て開催される。出演者は五州会同人の桑名、前田、平井、荒川、松崎の五氏に賛助客員に一本会本部の小山田賞水会長、筑前派の原島旭雄大家、また前奏として筑波洲光さんであ

辻靖剛翁へ感謝

日本琵琶協会は、同会主催の琵琶コンクール第十回を記念し、同会創立以来の理事長であり運営の担当責任者である辻靖剛翁の御尽力に對し、感謝を表する件は昨秋内定されてゐたが、五月十二日銀座交詢社にて、

あづま会の公演

七月九日日本牧亭で

東京琵琶界に異色の名手で知られる吾妻江風師は、弾き手の大家であり三絃の妙手で、全く芸人肌の通人の社交が愛されてゐるが、あづま会として公演を七月九日夕五時上野本牧亭にて開く。この会には故友の原島、仲川、宮武、大津、安倍の女流名手と錦堂派清吟会からも出演される。なお琵琶の外小唄振りも上演される。

立川鶴祥さん放送

群馬県前橋市の立川鶴祥さん(鶴田錦史門下)は、五月十九日夜群馬テレビで「扇の的」を放送され、好評であった。



引續き日本芸能顕彰会より金銀二種の勲章に鳳凰を配した優美な楯が贈呈(鈴木蒼士代)

観光者の黒山で 江島神社琵琶講 奉納まつり成功 石田講主感激す

風光明媚の名勝地湘南江島の春は、全島を包む鬱蒼たる樹々の新緑が一際映えて訪う観光者へ新鮮の氣風を深く感じさせる。ここに奉祀されてある弁財天の江島神社は日本三大弁財天の一つで、古く鎌倉將軍源頼朝公夫妻も信仰さ

會長、小川大阪支部長、金井(松本)、田中(東京)の四氏を招いての公演であった。特に今回は奥村支部長が就任後初めての大会とあって会員の協力支持振りがファン注目の的であったが、奥村支部長よく人気を獲り大賑いであつた。

名古屋松本師の 旭柳会の演奏会

日本橋会の元老である芸豪名家古屋流琵琶松本旭柳女史の旭柳会の演奏会が、五月十九日正午より大須の中小企業会館にて催され、松本会長、吉田旭雄、石河旭雄、賛助として大阪の山崎旭宗師、詩吟で薫風流宗家石河薫風女師と会員、その他諸氏が協賛して琵琶と詩吟の熱演で二十三番を上演し、琵琶合奏と吟で賑やかな舞台を飾り、旭柳旭柳会事務局長も岡崎より参加ご挨拶された。山崎師の奏曲は「曲平九郎」で、最後の「橋の香」一曲は二十数名の大合奏で大舞台を飾った。

弘沢雨水師転居

東京の錦心流琵琶界に、美声と器用巧者で有名な弘沢雨水師は、昭和四十六年以降三年間、伝統芸術名流会を日本橋三越劇場にて開催し、琵琶、譚談、尺八、長唄、新内、箏曲の名流出演で邦楽芸能の振興と向上に尽力され、大衆注目の的となつてゐるが、師は都合で千葉市市川市切二七〇一へ転居された。電話(五五)二八四六

一水会名古屋支部 春の演奏会賑う

錦心流一水会名古屋支部春のびわ演奏会は、新緑満ちる五月十二日午後大須の中小企業会館にて催され、奥村憲水支部長、水谷浩水、阿部勝水、三輪純水さん外支部員各氏と来賓に東京より小山田本部

詩舞紫舟流大会 九月二十二日に

現代吟舞界の名匠で麗明の淑徳者と譽れ高い神奈川県逗子市山の根の吟舞紫舟流宗家小林紫舟女師の主宰する紫舟流第十三回大会は九月二十二日逗子市立図書館ホールに於て開催されると。

六月三十日は 筑前青葉会大会

大阪 高島屋で 難波 榎本旭風 主催

琵琶詩吟名匠録

- 筑前琵琶 日本橋会 事務所 444 岡崎市福寿町七七七番地
筑前琵琶 旭会 大和流琵琶 山崎 旭萃
筑前琵琶 大坪 旭邦
旭部会 大坪 旭邦
旭部会 旭部会 旭部会

琵琶詩吟名匠録

- 筑前琵琶 堀田 旭甲
筑前琵琶 保存会 筑前琵琶 博多 旭蝶会
筑前琵琶 清川 嵐舟
筑前琵琶 正統会 薩摩琵琶 正統会
筑前琵琶 堀田 旭甲
筑前琵琶 保存会 筑前琵琶 博多 旭蝶会

琵琶詩吟名匠録

- 筑前琵琶 岩見 旭香
筑前琵琶 久徳 旭蘭
筑前琵琶 佐伯 旭瑛
筑前琵琶 押川 旭葉
筑前琵琶 石河 旭豊穂
筑前琵琶 竹下 翠風
筑前琵琶 廣瀬 翠紅
筑前琵琶 須田 旭綱
筑前琵琶 須田 旭綱

福井、洲水会大会
静岡県下で琵琶、詩吟両道の巨星として名声を謳われる静岡市の赤心流鶴翁(前名、森鶴堂)師は四月二十一日岡市駿府町の県立婦人会館にて春の大会を開き、「赤心流歌」の合吟を始め、単独の単吟、合吟、剣舞、岡尾鶴城氏を審査委員長とする単吟コンクール、吟舞、協賛吟詠等百数十題が上演された。競吟で新緑の春を吃驚させた。

静岡吟詠同志会 結成大会は盛況
静岡県吟詠同志会の結成大会は四月十四日九時より市公会堂で開かれ、兼会長長、木下、伴野、中西の三副会長を始め役員と会員その他二百余名が出席し盛況であった。
小田原一水会支部
一水会小田原支部と小田原琵琶協会主催の演奏会は、五月十二日第二区公民館で催され、鈴木謙水支部長並に県下支部長連合会の各支、梅沢、山田、榎本、平野の各市の支部長並に各地会員名手が若林墨水氏を先陣に出演された。

- 静岡吟詠同志会 結成大会は盛況
小田原一水会支部
正統会五月例会
薩摩琵琶正統会
清川 嵐舟
筑前琵琶 堀田 旭甲
筑前琵琶 保存会 筑前琵琶 博多 旭蝶会
筑前琵琶 清川 嵐舟
筑前琵琶 正統会 薩摩琵琶 正統会

染料・染色助剤・化学工業薬品
合成接着剤・界面活性剤・製造卸商
戸谷染料商店
社長 戸谷曙水

精密部品加工業(腕時計部品)
ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売
平井精密工業 株式会社
社長 平井円吉(洲誠)

お酒と新鮮魚
大衆的実質酒場
荒井屋
友吉健ちゃん
東京浅草雷門横
電話(844)四二五一番

石田琵琶店
創業明治十一年
最古の傳統と最高の技術
薩摩琵琶 専門製作
附属品一式
薩摩琵琶 愛吟集 各定価1,000円 送料85円

三田村楽器店
電話支谷 六八二二番